2017,3,5　残雪を楽しんだ七尾山トレッキングと奥伊吹のセツブンソウを訪ねて

良いお天気に恵まれラッキー。道の駅浅井三姉妹の郷により、トイレ休憩と特産品販売などを見学と購入。竹細工があり、私たちも挑戦してみたいね。と、技をシゲシゲと観察。七尾山は、この時期は落葉樹の葉がなく、眺望が素晴らしい。尾根コースを眺望を楽しみながら、心地よい風を感じながら七尾山を目指した。周りは、雪景色でまるで山水画のようだ。大きな山に挑戦しているようで、みなさん気持ちよくこころも弾んでいるようだ。Ｐ400 では、雪量も少し多くなり、Ｐ560m地点では、どっさり多くなり進むのも、考えながらの山歩になった。しばらくすると、雪量も少なくなり 30 分ほどで山頂に到着。山頂は、ビックリするほどの雪量。360 度の眺望は実にすばらしい。記念撮影。昼食。下山は、来た道を帰った。「七尾山はこの時期に登るのが一番良いね。」「良い山ね。」と、とても好評だった。奥伊吹のセツブンソウを見に行った。お花がたくさん咲いていました。今日も自然に感謝。出会いに感謝の一日だった。

◆トレッキングの様子

心地よい風・日差しを浴びながら

変木・奇木観察

眺望を楽しみながら

雪が残っている

この辺りの眺望は実にすばらしい

七尾山山頂にて　①

七尾山山頂にて　②

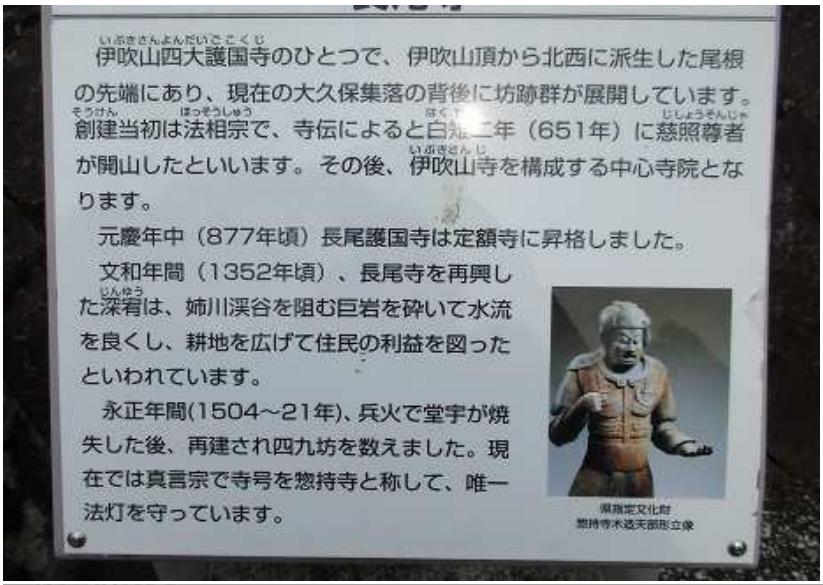
下山①

下山②

セツブンソウ　　たくさん咲いていました。

次ページへ（歴史）↓

【歴史探訪】



伊吹山四大護国寺のひとつで、伊吹山頂から北西に派生した尾根の先端にあり、現在の大久保集落の背後に坊跡群が展開しています。創建当初は法相宗で、寺伝によると白雉二年（651年）に慈照尊者が開山したといいます。その後、伊吹山寺を構成する中心寺院となります。

元慶年中（877年頃）長尾護国寺は定額寺に昇格しました。

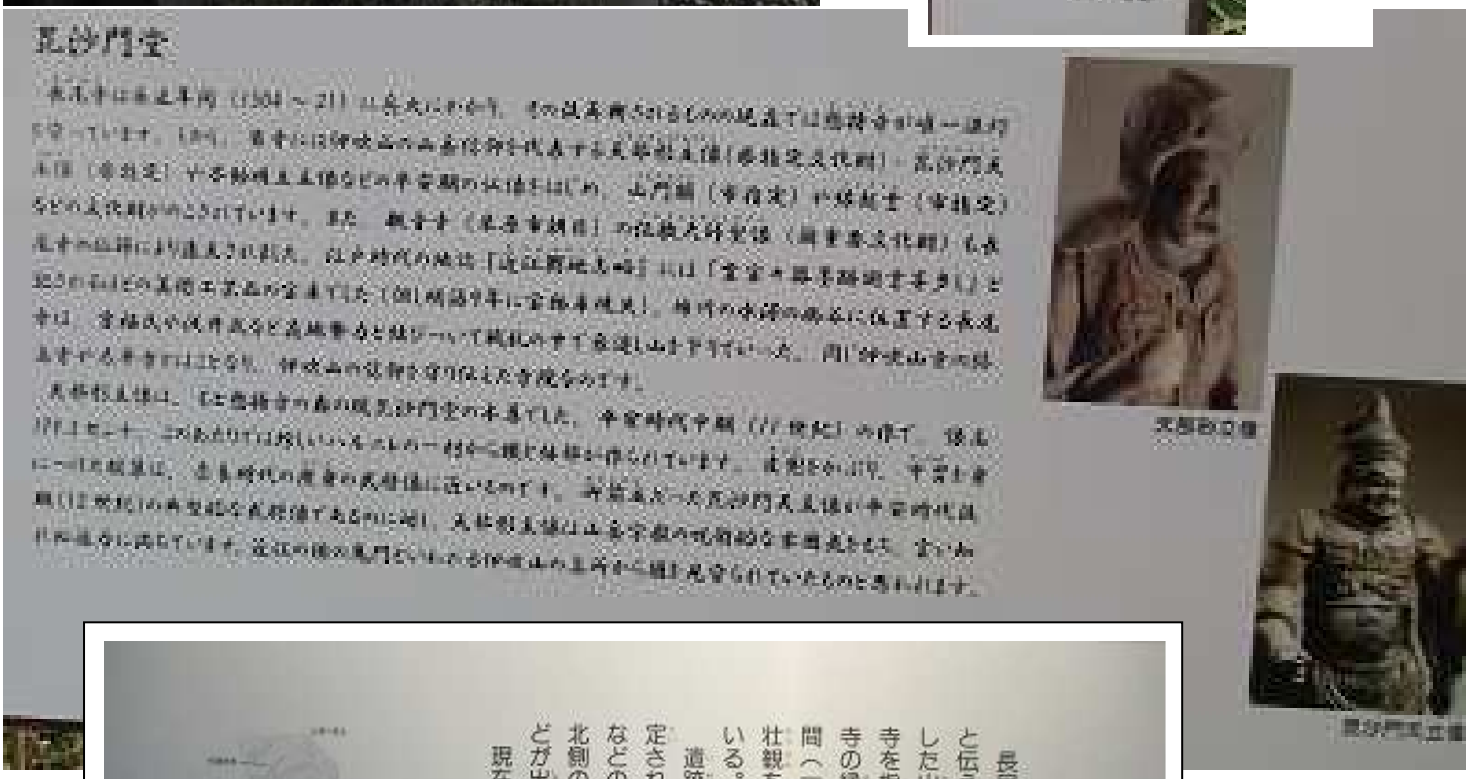
文和年間（1352年頃）、長尾寺を再興した深宥は、姉川渓谷を阻む巨岩を砕いて水流を良くし、耕地を広げて住民の利益を図ったといわれています。

永正年間(1504～21年)、兵火で堂宇が焼失した後、再建され四九坊を数えました。現在では真言宗で寺号を惣持寺と称して、唯一法灯を守っています。

県指定文化財
惣持寺木造天部形立像

このあたりは大門坂と呼ばれ、長尾寺の山門が建っていたところと伝えられています。山門には陽成天皇の勅筆といわれる「長尾護国寺」の大額が掲げられていました。

一九九七年三月　伊吹町教育委員会



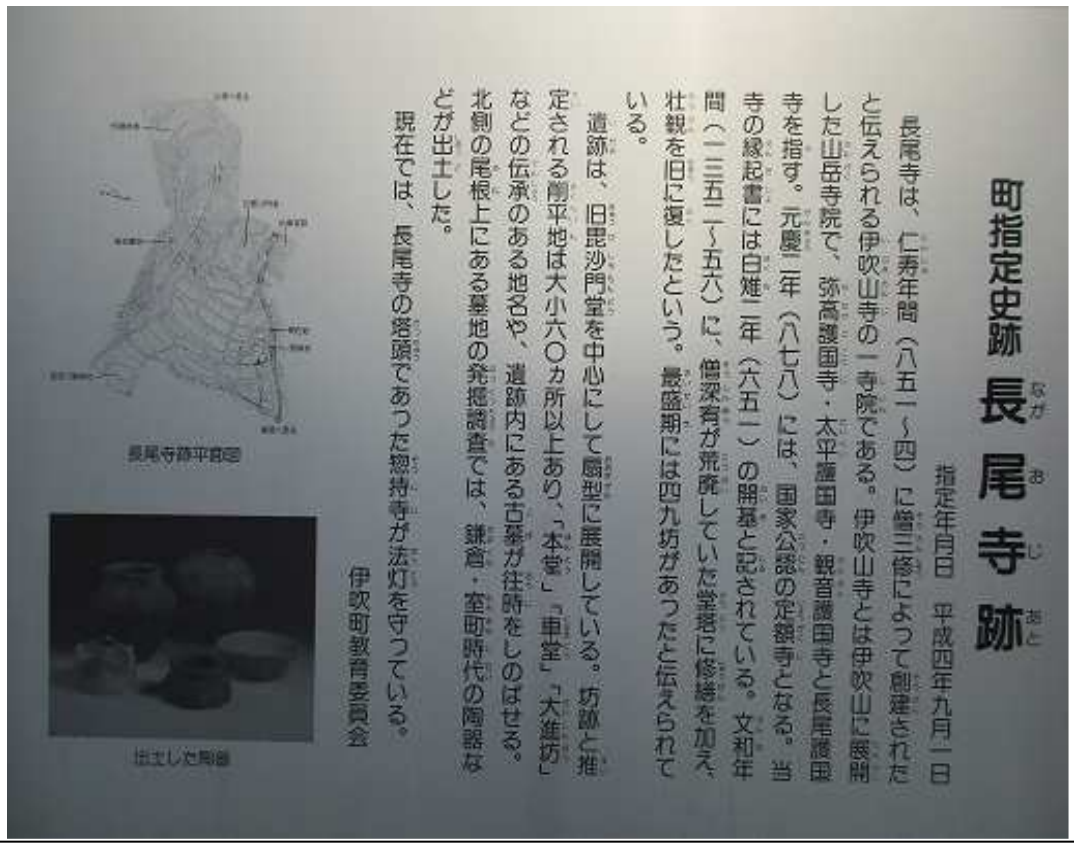
毘沙門堂

永正年間（1504～21）以来火により、その後再興されるものの現在では惣持寺が唯一法灯を守っています。（中略）寺宝には伊吹山の山岳信仰を代表する天部形立像（県指定文化財）、毘沙門天像（市指定）や多数現存する像などの平安期の仏像をはじめ、山門額（市指定）や梵鐘堂（市指定）などの文化財がのこされています。また、観音寺（長尾寺跡）の位置は不明（県指定文化財）も永元年の伝説により建立されました。江戸時代の地誌『近江輿地志略』には「堂宇ハ無量院書寺ト」と記されており、その基礎石が発見されました（創建当時の寺院）。梅雨の水源の跡地に位置する永遠寺は、宝福院や成井坊などと結集寺と称して戦乱の中で長い山を下りていった。同じ伊吹山寺の開基寺が長尾寺であったとされ、伊吹山の信仰を守り伝えた寺院なのです。

天部形立像は、『七惣持寺の南の現毘沙門堂の本尊でした。平安時代中期（11世紀）の作で、像高[illegible]センチ。この辺りは珍しいいろいろの一対の一つ。[illegible]。平安時代の[illegible]の民衆信仰に近いものです。[illegible]一つの毘沙門天像は、平安時代の[illegible]期（12世紀）の典型的な表現法であるのに対し、天部形立像は山岳宗教の呪術的な雰囲気をもち、古い[illegible]仏像に属しています。近江の国の鬼門にあたる伊吹山の上[illegible]尾されていたものと思われます。

天部形立像

毘沙門天立像



町指定史跡 長尾寺跡

指定年月日　平成四年九月一日

長尾寺は、仁寿年間（八五一～四）に僧三修によって創建されたと伝えられる伊吹山寺の一寺院である。伊吹山寺とは伊吹山に展開した山岳寺院で、弥高護国寺・太平護国寺・観音護国寺と長尾護国寺を指す。元慶二年（八七八）には、国家公認の定額寺となる。当寺の縁起書には白雉二年（六五一）の開基と記されている。文和年間（一三五二～五六）に、僧深宥が荒廃していた堂塔に修繕を加え、壮観を旧に復したという。最盛期には四九坊があったと伝えられている。

遺跡は、旧毘沙門堂を中心にして扇型に展開している。坊跡と推定される削平地は大小六〇ヵ所以上あり、「本堂」「車堂」「大進坊」などの伝承のある地名や、遺跡内にある古墓が往時をしのばせる。北側の尾根上にある墓地の発掘調査では、鎌倉・室町時代の陶器などが出土した。

現在では、長尾寺の塔頭であった惣持寺が法灯を守っている。

伊吹町教育委員会

長尾寺跡平面図

出土した陶器